

令和8年度 部局経営目標

年度	令和8年度	作成日	令和8年4月1日
部局名	産業観光部	部局長名	伊藤 大誠
(1) 部局の方向性 (テーマ)			
1. 循環型経済の推進【政策の柱-3支えあい、5にぎわい、6回る経済】 真庭市経済ビジョンに基づき、地域資源を生かした産業の振興（新産業の創出・イノベーションの推進・市外の人・企業との連携による市内価値の向上）や、理想の働き方を後押しするキャリア開発や雇用環境の充実の支援、未来の産業人材育成に取り組めます。 2. 農業基盤の維持・強化と循環型農業の推進【政策の柱-5にぎわい、6回る経済】 今後の農業をとりまく諸課題に対応するべく、官民が連携した真庭版農業支援サービス事業体を立ち上げ、意欲のある農業者の経営面積の拡大、スマート農業の推進、集落営農組織等の機能強化、新規就農者等の農業人材の育成や真庭の農畜産物等の付加価値の向上を図る。 また、酪農家の家畜排せつ物を活用し、電力や熱利用のほか液肥や再生敷料の利用する畜産バイオマスプラントを蒜山で構築し、その効果を蒜山全域に広げるとともに、濃縮バイオ液肥等の活用の推進し、循環型農業の更なる推進を図ります。 有害鳥獣被害については、農地だけでなく再造林推進の障害となっている食害が山林にも影響を及ぼしていることから、部内横断的な体制を構築し、捕獲圧の強化、持続的な経営ができる環境を構築します。 3. 持続可能な観光地域づくりの推進【政策の柱-5にぎわい】 次期森の芸術祭に向けて市内の機運醸成を図るため、前回芸術祭における成果を活用するとともに、周辺自治体と連携することで、真庭を中心とした地域全体への誘客を促進します。また、観光客の市外からの交通アクセス改善を検討します。 これまでの実績や効果、課題などを十分に検証した上で、JSTS-D（日本版持続可能な観光ガイドライン）の指標に基づき観光戦略を改訂し、市の進むべき観光の方向性を定めます。 4. 脱炭素社会実現に向けた取組の推進【政策の柱-6回る経済】 脱炭素の取組を一層推進するため、市民への脱炭素に寄与する機器等購入支援及び市民参加型イベントを実施します。電力の地産地消と地域エネルギー自給率向上の取組として、市の出資によって設立した地域新電力会社「まにわっと電力株式会社」を活用し、その収益の一部を地域の課題解決へ繋げます。また、現在稼働中の木質バイオマス発電所の後継機や小水力発電事業実施に向けた検討を関係事業者と連携して行います。 5. 持続可能な森林・林業・木材産業の実現【政策の柱-6回る経済】 森林・林業・木材関連産業の持続可能性を軸に、必要な再造林の実施をはじめ、森林の適正な整備・更新を進めるため、民間会社との協業体制をより推進するとともに、木製品の価値を高めるための取組を進め、将来の木材業界を担う方々や関係団体との連携し、木材の需要拡大を図ります。			

(2) 事業成果目標 (重点事業)	指標名及び目標値
●人口減少抑制対策 【産業政策】 (1)企業人材育成事業 ・市内企業従事者のスキルアップ（資格取得等）、学生インターン等を支援 (2)産業人材育成事業【再掲】 (3)地域雇用対策事業【再掲】 (4)地域資源活用事業【再掲】 (5)ふるさと納税推進事業 (6)企業立地雇用促進奨励金【再掲】 【農業振興】 (1)真庭版農業支援サービス構築事業【再掲】 (2)農業振興調査研究事業【再掲】 (3)中山間地域等直接支払交付金【再掲】 (4)多面的機能支払交付金【再掲】 (5)新規就農者応援事業 (6)就農支援対策事業 【林業・バイオマス】 (1)林業・木材産業人材育成事業 ・林業従事者の資格取得の支援、インターンの推進 (2)バイオマス産業創出事業 ・岡山大学生による市内林業・木材産業界との関係づくり (3)新しい森林経営モデル推進事業 ・服部興業との協業による市有林管理と効率的森林経営の実現 (4)真庭産木材需要拡大事業 ・真庭産材を活用した住宅への支援による定住環境の推進 (5)森林・林業 d X 推進事業 ・森林GISを活用した適切なゾーニングと効率的森林経営の実現 【地域エネルギー】 (1)カーボンニュートラル推進事業【再掲】 ・ゼロカーボン真庭推進補助金によるレジリエンスの高い定住環境の推進	
●こどもまんなか関連 【産業政策】 (1)産業人材育成事業【再掲】 (2)地域雇用対策事業【再掲】 (3)地域資源活用推進事業【再掲】 ・カルマニへのインターン参加（高校生）による多様な視点、経験創出 (4)商工会補助金 ・キッズマニワーク等の実施によるこどもの体験創出 (5)観光客誘致推進事業 ・市内SDG s ツアーによる親子のSDGs体験、視察の推進、観光地域づくりマネージャーによる高校生ライブ等の開催 【農業振興】 (1)農業振興調査研究事業【再掲】 ・大阪大学と連携した最先端研究の体験 【林業・バイオマス】 (1)木質バイオマス普及拡大事業 ・小中学生を対象とした出前授業、施設見学による理解醸成 【地域エネルギー】 (1)カーボンニュートラル推進事業 ・脱炭素市民会議や普及啓発イベントによる脱炭素社会、木育等の推進	

1-①循環型経済の推進 (1)地域資源活用推進事業 ・市内企業と都市部クリエイターによる新産業創出支援 ・官民連携による地域課題解決支援 ・新たな企業誘致による回る経済の推進 ・企業版ふるさと納税推進事業 (2)ふるさと納税推進事業 (3)未来価値創造事業 GREENableブランドを通じた回る経済の推進	指標:カルマニエントリー企業 目標値:10社 （令和7年度実績値（見込み）：4）
1-②働きやすい環境整備と企業の人材確保 (1)産業人材育成事業 ・市内高校生によるビジネスを通じた社会課題解決、スキルアップ・チャレンジの支援 (2)企業立地雇用促進奨励金 ・市内の企業立地に係る資金支援と新規雇用者の創出の推進 (3)地域雇用対策事業 ・企業等が設置する保育所等に設置企業以外の企業等で働く従業員の子供を受け入れる事業者に対する補助 ・多様な働き方を実現するためのデジタルスキルやキャリアデザインの支援 ・市内新規就職者に対する研修等の実施 ・ジョブフェア等による職業選択・雇用機会の創出	指標①:プログラム受講生徒 指標②:補助申請件数 目標値①:50人 目標値②:10件 令和7年度実績値（見込み） ①:47 ②:1
2-①真庭版農業支援サービス事業体の構築をはじめとした農業生産基盤の維持・転換の推進 (1)真庭版農業支援サービス構築事業 (2)農業振興調査研究事業 ・官民が一体となった真庭版農業支援サービス事業体（法人）の設立 ・中山間地域等直接支払交付金、多面的機能支払交付金等の活動支援による農業生産の維持推進 ・農畜産物をはじめとした地域産品の販路開拓 ・農作業受委託推進やスマート農業等の人口減少下における農業生産基盤の維持発展支援・実証 (3)中山間地域等直接支払交付金 (4)多面的機能支払交付金 ・傾斜地等の条件不利地域における営農の継続や農地・農業インフラ等の維持といった多面的機能の発揮に係る活動支援 (5)新規就農者応援事業 (6)就農支援対策事業 ・新規就農者に対する経営開始資金、研修等の支援など	指標①:サービス利用件数 指標②:真庭市の農業産出額 目標値①:60件 目標値②:140億円 令和7年度実績値（見込み） ① - ② 136.6億円

2-③酪農大学校と連携したバイオマスプラントの構築と酪農家の体制強化 (1)畜産バイオマス発電施設整備事業 ・（公財）中国四国酪農大学校と連携し、同校において飼養されている乳牛等の家畜排せつ物を活用したバイオマスプラントの構築に着手 (2)酪農等集中対策事業 ・酪農家の生産基盤の維持・強化に必要な農業用機械の導入の支援 ・酪農大学校の魅力化支援、酪農経営の第三者継承のための検討 ・岡山県と連携した牧草地の基盤整備実証 ・脱脂粉乳やローファットミルクの需要創出 など	指標：1 酪農家あたりの飼養頭数（牛） 目標値:60頭 （令和7年度実績値（見込み）：59頭）
2-④バイオ液肥等を活用した循環型農業の推進 (1)循環型農業推進事業 ・バイオ液肥を活用した農業生産のための実証・理解醸成 ・バイオ液肥スタンドの設置や普及啓発による利用推進 (2)環境保全型農業直接支払交付金 ・化学肥料・農薬の低減による環境保全活動に取り組む農業者の支援	指標： ①バイオ液肥スタンドの整備 ②バイオ液肥利用量 目標値： ①15カ所（地域スタンドを含む。） ②500t 令和7年度実績見込： ①全14カ所 ②200t
2-⑤農林が一体となった有害鳥獣対策の推進 (1)有害鳥獣駆除事業 ・猟友会（有害鳥獣駆除班）によるニホンジカ、イノシシ、ニホンザル等の有害鳥獣駆除の支援（森林環境譲与税も活用） (2)有害鳥獣防護柵設置事業 ・集落ぐるみでの防護柵設置等の支援 (3)ジビエ活用事業 ・ジビエコンテナを核とした捕獲圧の向上とあわせたジビエの円滑処理、活用の推進 ・オール真庭や真庭版農業支援サービス事業体と連携した販路の開拓	指標：捕獲頭数 ①イノシシ ②ニホンジカ ③ニホンザル 目標値： ①2500 ②2000 ③150 令和7年度実績見込み： ①738 ②1713 ③164

3-①持続可能な観光地域づくりの推進 未来価値創造事業 「持続可能な観光地域づくり」の推進に向けた『観光戦略改訂』 ・真庭市観光戦略改訂に向け（一社）真庭観光局と連携のもと具体的内容を検討する。JSTS-D（日本版持続可能な観光ガイドライン）の指標に基づく内容とし、合意形成を図りながら指針づくりを進め、アクションプランの策定にも取り組む。 森の芸術祭に向けたプレイベントの企画・実施 ・第2回森の芸術祭に向け、アート作品の設置調整をはじめ、市内宿泊拠点施設や観光施設への誘導、経済波及効果を高めるため、「水」をテーマとしたプレイベント・ツアー造成を企画・実施する。期間中の周遊バス運行に向けた調整も進め、宿泊客数増加につなげる。 海外プロモーションの強化とツアーの販路拡大 ・「まにわ発酵's」を巡る食とサイクリングをテーマとした海外旅行者（欧米豪）向けツアーのプロモーションと販路拡大 受入体制整備 ・観光看板の点検・撤去・英語表記化、観光施設改修などのインフラ整備	指標： ①観光入込客数 ②旅行消費額 （宿泊：1人あたり） ③施設改修実施件数 目標値： ①305万人 ②30,500円 ③10件 令和7年度実績値（見込み） ①318万人 ②3回 ③1件 ④10件 ⑤-件
4-①脱炭素社会実現に向けた取組の推進 カーボンニュートラル推進事業 カーボンニュートラルの推進のため、令和8年度は引き続き普及啓発を実施し、市民の行動変容に繋げる。 また、「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づき、「第5次真庭市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）」を策定し、事務事業において排出される温室効果ガスの計画的な削減を目指す。 ・普及啓発PR ・脱炭素社会に向けた市民会議の開催 ・EVの普及推進 ・ゼロカーボンシティまにわ促進補助金の交付 ・第5次真庭市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）の策定 地域エネルギー 100%のまちづくり推進事業 ・真庭市が民間企業とともに設立した地域新電力会社と連携したエネルギー政策の推進及び地域課題解決への支援。 ・協定を締結した企業と市内小水力発電事業を推進すること。 ・市内資源を活用した地域内エネルギー自給率を向上させる政策の検討及び実施。	指標： ①ゼロカーボンシティまにわ促進補助金執行額 ②市民会議参加者 ③地域新電力会社が行う地域課題解決策提案数 ④小水力発電導入可能性調査数 目標値： ①10,000,000円 ②40人 ③1件 ④2箇所 （令和7年度実績値（見込み））： ①11,977,000円 ②22人 ③なし （当年度設立された会社のため） ④2件（目木川、余川）

5-①新たな森林経営モデルの構築 新しい森林経営モデル推進事業 ○森林経営管理法に伴い意向調査の実施 R3・R4美甘、R5・R6勝山、R7湯原、R8久世（R11まで）と実施 ○山守プロジェクト（R5～） 意向調査の結果を踏まえ、売却や寄付、委託を希望する所有者と受け皿のマッチングの仕組みを推進 森林・林業 d X 推進事業 森林・林業の d X 化を促進するため、岡山県が解析した森林資源データを基に、地位・地理などの条件から山林のゾーニングを行う。解析データについては、真庭市で整備している森林GISに搭載し、見える化を図る。 R5美甘、R6勝山、R7湯原・久世、R8落合・北房、R9川上・八束・中和	指標: ①意向調査対象者 ②マッチング達成面積 ③ゾーニング実施区域数 ④dXワークショップ開催数 目標値: ①2,400人（久世） ②50ha ③4地区（落合・川上・八束・中和） ④1回 （令和7年度実績値（見込み））: ①2,000人（湯原） ②55ha ③2地区（湯原・久世） ④2回
5-②市内林業の競争力強化 森林循環及び低コスト施業促進整備事業 ①広葉樹の広葉樹の利用拡大のため、伐採搬出材に対し支援を実施 ②安全性や生産性向上のため高性能林業機械等の導入を支援 林業・木材産業人材育成事業 真庭地域における林業事業体の経営基盤強化および林業従事者の確保を目指して地域の事業体と連携して推進に取り組むもの。令和4年度からは、担い手確保支援と技能習得のための資格取得、研修費用等に対し、補助を行っている。	指標: ①広葉樹搬出量 ②機械導入数 ③ゾーニング実施区域数 ④dXワークショップ開催数 目標値: ①6,600t ②5台 ③移住相談会参加回数 ④支援する活動団体数 （令和7年度実績値（見込み））: ①6,600t ②12台 ③1回 ④2団体
5-③市有林の適切な整備 公有林整備事業 市有林の健全な森林保全のため、森林の持つ公益的な機能の発揮及び適切な森林整備を目的に植栽、雪起こし、下刈り、枝打ち、除伐、搬出間伐、切捨間伐、主伐、ナラ枯れ対策を実施 新しい森林経営モデル推進事業 市有林を含めた各種課題解決に向け、森林整備やコスト削減のノウハウを有する民間事業者と協業によって実証及び実践に取り組む	指標: ①森林整備面積 ②実証事業数 目標値: ①80ha ②2件

	（令和7年度実績値（見込み））： ①76ha ②－（R8新規）
5-④真庭産の多様な製材品の需要拡大 真庭産木材需要拡大事業 木材需要拡大にため、木材利用への支援や啓発活動を実施 ・木材利活用促進事業(木造新築住宅支援) ・木材活用リノベーション事業 ・CLT普及促進事業（セミナーや現地見学会の実施） 真庭産木材価値向上事業 R5から広葉樹の製品利用として用途拡大に向け推進を行っており、R6から実施している協同実証事業を行う	指標： ①新築とリノベの補助件数 ②セミナー開催数 ③広葉樹の取引量 目標値： ①65件 ②1回 ③150m³ （令和7年度実績値（見込み））： ①52件 ②1回 ③130m³